

## <505> 「題材」に必要な条件のエッセンスは？

技術分野の「題材」には、どんな条件を満たす必要があるかのエッセンスを示してみたいと思います。なお、エッセンスで示した以外に、私費負担にも配慮する必要があります。

### エッセンスー１：技術分野のねらいが達成できる

技術分野のねらいの達成のため、学習活動を通して「学力の３要素」を達成することが必須条件です。特にキット教材を活用すれば、ねらいが達成できるという思い込みに陥りやすいので、ねらいの達成の確認を怠らないようにします。また、教師側が決めたねらいが、生徒に届いているのかの確認も必要です。ねらいを達成するための題材は、ワークシートも含めて考えていきます。

### エッセンスー２：計画した授業時数内で学習指導や学習評価ができる

学習指導の内容は、学習評価も含め、１年間 35 または 17.5 時間の年間の授業時数内で納めるのが理想です。題材の授業時数は、学期単位の学習評価でできることも条件にします。どうしても、学期や学年をまたぐ場合は、教科書の章単位で終わるようにします。その場合の「評価の３観点」での成績処理は、資料１を参考に、工夫する必要があります。学習評価は教師の都合でなく、生徒の学習の励みを優先したいものです。

#### 資料１：「評価の３観点」の学期単位での工夫例

知識・技能	学期内で学習した内容で学習評価する
思考・判断・表現	学期終了時点での、「設計・計画」「製作・育成・制作」「ふり返り」単位での評価規準を定めておく必要があります。
主体的に学習に取り組む実践的な態度	教科書の１章・２章・３章（D編は４章）などの学期の区切りでの評価規準の読み取り基準を定めておく必要があります。参考資料を参照して下さい。

### エッセンスー３：題材での学習成果が生活や社会で活用できる

題材で学んだ「学力の３要素」の成果を、資料２に示す例のように、今後の学習や実際の生活に生かすようにします。

#### 資料２：題材で学んだ「学力の３要素」の学習成果を生かす例

知識及び技能	学習結果を問題解決の学習で活用することを明示したり、身近にある技術を観察したりして、覚えるだけでなく、実際に役立つようにする
思考力・判断力・表現力等	作品の完成に向けて学習した問題解決する力を、実際の生活でどう生かせるかなどのレポートを提出させる
学びに向かう力、人間性等（工夫し創造しようとする実践的な態度）	完成作品の生活での活用状況や学習成果を生活や社会でどう活用するかをレポートを提出させたりして、役立つ実践的な態度にしていく

### 参考資料：章単位の評価規準の読み取り基準

次に示す『<308>観点「主体的に学習に取り組む態度」の読み取り基準のエッセンスは?』の「態度に必要な根拠・目的」欄の評価規準の読み取り基準例を準用します。

1章の段階	「習得した知識及び技能の活用状況」
2章の段階	「問題解決力(思力・判力・表力等)の活用状況」と「作業経験から技術の意識」